

財団法人8020推進財団  
平成17年度 歯科保健活動助成事業報告書

平成18年 3月 31日

財団法人8020推進財団  
理事長 井 堂 孝 純 殿

住 所 〒604-8415 京都市中京区西ノ京梅尾町3番地の8  
申請団体名 社団法人 京都府歯科医師会  
代表者氏名 会長 福 田 滋 印

事業名	『わかりやすく歯周疾患の基礎知識を学べる電子媒体（CD-R）作成と配布』
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本事業についてのプロジェクト会議を2回/月開催</li> <li>2. CD-R作成の為の資料収集と企画の整理、台本作成</li> <li>3. 従来型啓発媒体としてのパワーポイントを使った媒体づくり</li> <li>4. 動画による媒体づくりの研修</li> </ol>
CD-R作成過程	<p>今までの歯科公衆衛生啓蒙活動用のCD-Rは内容重視のため、どうしても一般の方にとってとっつきにくい傾向にあった。そこで、今回我々は、歯やお口の病気に関する知識を学び「歯を大切にす気持ち」と、「歯の手入れをする具体的な方法」を身につけてもらうことを目的としてCD-Rを作成した。しかしながら画像を使っただけのパワーポイントでの一方通行の媒体では聞き手の関心をひきつけるには限界があり、継続した行動変容にはなかなか結びつきにくいようだ。そこで次のステップとして動画などによる媒体づくりの準備として資料収集と台本作成を行った。具体的にはキャラクターのイメージ作りと0才からスタートし、成長に伴って様々なアクシデントにでくわしてクイズに答えながら、アイテムをゲットして行き、80歳で20本以上の歯を残すことができればゲームクリアになるというアドベンチャーストーリーの台本を作成した。これをいかに動画を用いたゲーム感覚の媒体に仕上げていくかが課題であり、それがどのように歯周疾患健診の受診率向上に役立つか、アンケート調査を行う予定である。</p>
考察	<p>CD-R作成にあたり、全身疾患と歯周病との関係を再認識した。またこのような歯科公衆衛生啓蒙活動用のCD-Rの作成には内容もさることながら、視覚的なインパクトや、面白さなども重要であることが考えられた。従来型の媒体の有効活用は言うまでもないが次世代型とも言うべきインタラクティブなゲーム感覚の媒体の実現が大いに期待される。このようなCD-Rが歯周疾患健診の受診率向上のみならず、口腔に興味を持ち、かかりつけ歯科医における定期管理を推進することに寄与すると確信している。</p>